

平成27年度 京都市予算案 事業概要

交 通 局

事務事業名	市バス・地下鉄中期経営方針の推進(地下鉄事業)		
予 算 額	一千円	新規・継続の別	継 続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	—
担 当 課	企画総務部総務課(863-5031), 財務課(863-5080)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>「京都市高速鉄道事業経営健全化計画(平成22年3月策定)」の進ちよく状況を踏まえ、平成24年11月に「京都市交通局市バス・地下鉄中期経営方針」を策定し、全庁を挙げた増客策、安全対策、お客様サービスの向上に取り組んでおり、これまで計画を上回るペースで収支改善が進んでいる。</p> <p>平成27年度は中期経営方針の総仕上げの年度として、同方針に掲げる取組を確実に実行するとともに、健全化計画の進ちよく状況を踏まえた、一般会計からの支援を確保しつつ、将来にわたる地下鉄事業の安定的な運営に向けて、経営健全化を着実に推進していく。</p> <p>[平成27年度における主な取組]</p> <p>1 増収増客策</p> <p>(1) 「京都市地下鉄5万人増客推進本部」の体制の下、沿線施設や区役所・支所と連携したイベント開催など、全庁を挙げた取組の更なる推進</p> <p>(2) 大学・企業と連携した駅ナカアートプロジェクトなど駅の魅力向上や、<u>地域・事業者の協力により駅への案内表示を充実する「地下鉄道しるべ」事業の推進</u>、<u>北山駅延伸25周年記念事業</u>、<u>地下鉄応援キャラクターを活用したPR活動</u></p> <p>2 駅ナカビジネスの積極的展開</p> <p>(1) <u>「コトチカ御池」の拡充工事</u>、<u>今出川駅の店舗設置工事の実施</u></p> <p>(2) <u>「コトチカ京都」の拡充に向けた実施設計</u></p> <p>3 お客様接遇の向上と安全対策</p> <p>(1) <u>「市バス・地下鉄お客様サービスサポート会議」による外部評価や提言を踏まえた、全国一お客様サービスの実践</u></p> <p>(2) <u>烏丸線への可動式ホーム柵設置(27年度四条駅、京都駅供用開始)</u></p> <p>(3) <u>三条京阪駅出入口への止水板の設置</u></p> <p>(4) <u>地下鉄車両車内灯及び駅照明のLED化の推進</u></p> <p>4 お客様サービスの向上</p> <p>(1) <u>IC定期及びICカードによる乗継割引の導入(29年4月運用開始予定)</u></p> <p>(2) <u>ICカードチャージ機能及び4箇国語表示機能付き券売機、精算機の導入</u></p> <p>(3) <u>改集札機のICカード対応の推進(27、28年度の2箇年で全機IC対応完了)</u></p> <p>(4) <u>4箇国語対応のコミュニケーション支援ボードの全駅配備</u></p> <p>(5) <u>利用者にわかりやすい案内サイン(駅地上出入口、駅構内)の整備推進</u></p> <p>(6) <u>北大路駅、今出川駅トイレのリニューアル</u></p> <p>5 一般会計からの支援</p> <p>(1) <u>国制度に基づく経営健全化対策出資金の確保</u></p> <p>(2) <u>高資本費対策補助金(任意補助)の計上見送り</u></p>			

平成27年度 京都市予算案 事業概要

交通 局

事務事業名	市バス・地下鉄中期経営方針の推進(市バス事業)		
予 算 額	一 千 円	新規・継続の別	継 続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	—
担 当 課	企画総務部総務課(863-5031), 財務課(863-5080)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>平成24年11月に「京都市交通局市バス・地下鉄中期経営方針」を策定し、平成27年度の「自立経営」の実現を目標に掲げ、増客策、安全対策、お客様サービスの向上に取り組んでいる。</p> <p>平成27年度は同方針の目標どおり、累積資金不足を解消し、一般会計の任意補助金に頼らない「自立した経営」をスタートさせるとともに、路線・ダイヤの更なる充実やお客様の利便性向上により、増客を図る、積極的な「攻めの経営」を一層推進していく。</p> <p>[平成27年度における主な取組]</p> <p>1 路線ダイヤの充実</p> <p>(1) 平成27年3月実施の運転計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 主要系統や「河原町ショッピングライナー」の増便 イ 伏見稻荷大社や嵐山方面など観光地へのアクセス系統の増便 ウ 阪急西京極駅をはじめとする鉄道駅との結節強化、乗継利便性向上 エ 京都学園大学太秦キャンパス開校にあわせた利便性向上 <p>(2) 京都岡崎・都心循環バスの新設と100円循環バスの増強</p> <ul style="list-style-type: none"> ア <u>市バスの新しい魅力を発信する取組として、京都を代表する文化・交流ゾーンである「岡崎地域」とまちなかを結ぶ路線の新設</u> イ <u>都心を一方向(反時計回り)で循環している「100円バス」の両回り運行化</u> <p>2 魅力あるバス待ち環境の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域、民間の協力による新たなバス待ち空間「バスの駅」の設置 (10箇所程度) (2) インターネットを活用したバス接近表示器の設置 (80基) (3) <u>四条通に広いスペースのテラス型バス停を設置し、快適なバス待ち空間を創出</u> <p>3 お客様接遇の向上と安全運行の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) <u>「市バス・地下鉄お客様サービス向上サポート会議」による外部評価や提言を踏まえた全国一お客様サービスの実践</u> (2) <u>運転操作時における各運転士の特性を踏まえた安全運行研修の実施</u> (3) 事故防止重点強化策 (違法駐停車への啓発による走行環境の改善) <p>4 お客様サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) <u>IC定期及びICカードによる乗継割引の導入 (29年4月運用開始予定)</u> (2) <u>市バス観光マップ「バスなび」(中国語・韓国語版)の作成</u> (3) <u>4箇国語対応のコミュニケーション支援ボードの全車配備</u> (4) <u>京都駅前バスターミナル等に「市バスおもてなしコンシェルジュ」を配置</u> 			

平成27年度 京都市予算案 事業概要

交 通 局

事務事業名	京都岡崎・都心循環バスの新設と100円循環バスの増強		
予 算 額	一千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	—
担 当 課	自動車部運輸課(863-5132)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>本市では、平成23年3月に策定した「岡崎地域活性化ビジョン」において、将来像を実現するための方策の1つとして「地域資源を結び、岡崎の総合的な魅力を高める、保全・創造の景観・まちづくり」を推し進めるため、「地域へのアクセスと地域モビリティの向上」を図ることとしている。</p> <p>また、都心における歩行者の快適性と公共交通の利便性を高め、まちの賑わいを創出するため、「歩くまち・京都」公共交通優先のまちづくりのシンボル事業として、四条通の歩道拡幅工事に着手しており、今秋の完成を目指している。</p>			
<p>[事業概要]</p> <p>1 京都岡崎・都心循環バスの新設</p> <p>「岡崎地域」へのアクセス及び地域内の回遊性を向上し、岡崎の魅力をもっと高めるとともに、市バスの新たな魅力を発信する取組として、同地域と地下鉄駅やまちなかの京阪三条駅・阪急河原町駅を結ぶ、京都岡崎・都心循環バスを新設する。</p> <p>(1) 運行開始予定 平成27年秋 (2) 運行回数 毎時4本程度 (3) 導入車両 小型ノンステップバス4両</p> <p>2 100円循環バスの増強</p> <p>「人と公共交通優先の歩いて楽しい四条通」(四条通歩道拡幅工事)の完成を契機に、現在、まちなかエリア(四条通・河原町通・御池通・烏丸通)を土・休日に一方向のみを循環運行している100円循環バスを両回り循環運行化し、歴史的都心地区を回遊する交通インフラ機能を拡充する。</p> <p>(1) 実施予定 平成27年秋 (2) 運行回数 毎時6本程度</p>			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

平成27年度 京都市予算案 事業概要

交 通 局

事務事業名	魅力あるバス待ち環境の創出		
予 算 額	164,655 千円	新規・継続の別	継続
	〔うち一般会計補助金 7,376 千円〕	政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規 充実予算枠
担 当 課	自動車部 技術課 (863-5154)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>バス接近表示器やバスの駅を拡充し、バスを待たれるお客様への快適なバス待ち環境を提供することで、一層の利便性向上を図る。</p> <p>[事業概要]</p> <p>1 バス接近表示器の整備 (73,764千円)</p> <p>平成26年度から平成28年度までの3箇年で、設置要件を満たす約500箇所のうち、未整備の約200箇所全てにバス接近表示器を整備することとしている。</p> <p>平成27年度は、バス停のインターネット環境を活用し、液晶モニターにバスの接近情報を表示する「モニター型」80基の整備を目指す。</p> <p>2 「バスの駅」設置 (30,000千円)</p> <p>地域・民間の皆様の御協力により、バス停に近接する土地等を無償で提供していただき、バス待ちスペースを整備する「バスの駅」設置事業は、歩道が狭いことにより上屋やベンチの設置が困難な箇所において効果的である。</p> <p>平成25年度に着手し、これまでに9箇所(平成27年1月現在)に設置しており、平成27年度は10箇所程度の設置を目指す。</p> <p>3 四条通歩道拡幅に伴うバス停整備 (60,891千円)</p> <p>人と公共交通優先の空間として生まれ変わる四条通に、まちなかの賑わいや京都らしさを創出するグレードの高いバス停を整備し、快適なバス待ち空間の創出と公共交通の利便性向上を図る。</p> <p>(1) 整備箇所数：4箇所</p> <p>(2) 整備施設：バス停延長のほぼ全域にわたる連続上屋、ドライ型ミスト、太陽光パネル など</p> <p>(3) 年次計画：26年度設計等、27年度設置工事</p> <p>(4) 総事業費：151,000千円</p>			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			

平成27年度 京都市予算案 事業概要

交 通 局

事務事業名	市バス・地下鉄おもてなし作戦の展開		
予 算 額	36,534 千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	-
担 当 課	企画総務部研修所(643-4601), 営業推進室(863-5065), 自動車部運輸課(863-5135),		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>京都を訪れる外国人観光客が、アジア圏を中心に急増していることから、外国人のお客様への案内ツールの充実が求められている。</p> <p>また、京都を訪れる国内外からの観光客の玄関口である京都駅前バスのりばと、歩道拡幅に伴い集約した四条通のバス停において、きめ細かな案内がより一層求められている。</p>			
<p>[事業概要]</p> <p>1 外国人観光客等へのおもてなし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション支援ボードの配備 (3,240千円) 外国人のお客様と円滑に意思疎通を図るため、乗車方法や路線といったよくある質問に対する回答を、4箇国語(日本語, 英語, 中国語, 韓国語)の文例とイラストで記載した「コミュニケーションボード」を製作し、バス運転士や地下鉄駅員に配備する。 ・市バス観光マップ「バスなび」(中国語・韓国語版)の作成 (3,294千円) 観光で京都にお越しになる方を対象に、市バスの乗車方法や主な観光地へのアクセスを分かりやすくまとめた市バス観光マップ「バスなび」は、現在日本語版と英語版の2種類を発行しているが、新たに中国語版及び韓国語版を製作し、市バス・地下鉄案内所、定期券発売所及び地下鉄各駅窓口等で配布する。 <p>2 京都駅前バスターミナル等でおもてなし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市バス“おもてなしコンシェルジュ”の配置 (30,000千円) 京都観光の起点として最も多くのお客様のご利用がある京都駅前バスのりばや、人と公共交通優先の空間に生まれ変わる四条通の四条河原町・四条高倉停留所などの主要なバス停へ、市バスへのご乗車に当たっての案内や整列・誘導業務を親切・丁寧に行う、市バス“おもてなしコンシェルジュ”を配置する。 			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

平成27年度 京都市予算案 事業概要

交通局

事務事業名	市バス・地下鉄における「IC定期」及び「ICカードによる乗継割引」の導入		
予算額	債務負担行為	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	—
担当課	営業推進室（863－5022）		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕 本市では、交通系ICカードを、地下鉄においては平成19年4月から、市バスにおいては平成26年12月から運用を開始しており、全国10種の主要なICカードを利用いただける全国相互利用や、市バス・地下鉄の利用額に応じた割引などのサービスを提供し、お客様の利便性向上に努めている。</p> <p>〔事業概要〕 平成27年度は、更なる利便性向上とICカードの普及促進を図るため、お客様からの要望も多いIC定期及びICカードによる乗継割引の導入に向け、プログラム開発などに着手する。</p> <p>1 導入するサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IC定期券（対象：ICOCAカード） ・ICカードによる定期券相当割引サービス（対象：PiTaPaカード） ・ICカードによる乗継割引 市バス・市バス又は市バス・地下鉄（地下鉄・市バス）を連続して乗り継いだ場合に、2回目の乗車運賃から一定額を自動割引 （対象：PiTaPa、ICOCAなど、全国相互利用対象の10種の交通系ICカード） <p>2 年次計画 平成27～28年度 プログラム開発、システム改修等、運用試験 平成29年4月 市バス・地下鉄において運用開始（予定）</p> <p>3 総事業費 19億円（全額平成28年度）</p>			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			

平成27年度 京都市予算案 事業概要

交通局

事務事業名	地下鉄全駅における改集札機及び券売機等のIC対応化の促進		
予 算 額	1,007,079 千円	新規・継続の別	新規・継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	—
担 当 課	高速鉄道部 電気課 (863-5277)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕 本市地下鉄においては、平成19年4月から交通系ICカード「PiTaPa・ICOCA」の運用を開始し、平成25年3月には全国10種の主要なICカードを利用いただける全国相互利用を開始した。市バスにおいても、平成26年12月からICカードの運用を開始し、お客様の利便性向上とICカードの普及促進を図ってきた。</p> <p>〔事業概要〕 平成29年4月のIC定期及びICカードによる乗継割引サービスの運用開始に向け、平成27年度及び28年度の2箇年で、機器更新の時期を迎えた改集札機、券売機及び精算機の更新に合わせてICカード対応を進め、ICカード利用環境の向上を図る。</p> <p>また、昨今、外国からのお客様が増加していることを踏まえ、券売機及び精算機については、4箇国語表示に対応する機器とし、外国人観光客等の利便性を向上させる。</p> <p>1 改集札機のICカード対応の推進 平成27、28年度の2箇年で、全ての改集札機のICカード対応を完了 (平成26年度末時点で、改集札機の80%がICカード対応済み) 平成27年度予算額 216,613 千円 (18台設置)</p> <p>2 ICカードチャージ及び4箇国語表示機能付き券売機 精算機の全駅導入 平成27、28年度の2箇年で全駅に設置 平成27年度予算額 790,466 千円 (10駅設置)</p>			
〔参 考 (他都市の状況・事業効果など) 〕			

平成27年度 京都市予算案 事業概要

交 通 局

事務事業名	駅ナカビジネスの積極的展開		
予 算 額	631,000 千円	新規・継続の別	新規・継続
	（うち一般会計出資金 128,000 千円）	政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規 充実予算枠
担 当 課	営業推進室（863-5068）		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕</p> <p>「駅ナカビジネス」は、地下鉄駅の魅力や利用者の利便性を向上させ、増収増客及び駅や駅周辺地域の賑わいの創出に寄与することから、これまで積極的に取り組んでいる。</p> <p>平成24年11月に策定した「京都市交通局市バス・地下鉄中期経営方針」で掲げる「第2期駅ナカビジネス展開計画」では、「コトチカ」の拡充（烏丸御池駅、京都駅）や新設（山科駅、北大路駅）等、それぞれの駅の特性に応じた商業利用を促進することにより、平成30年度の駅ナカビジネス収入10億円を目指している。</p> <p>〔事業概要〕</p> <p>コトチカ御池の増床エリア及び今出川駅店舗を開業するとともに、コトチカ京都の増床に向けた実施設計等を行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p>○コトチカ御池増床 工事 (予算額：492,000 千円)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 所在地 中京区虎屋町 2 店舗面積 約400㎡ 3 店舗数 4店舗 4 開業予定 平成27年度 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p>○今出川駅構内店舗新設工事 (予算額：116,000 千円)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 所在地 上京区岡松町 2 店舗面積 約85㎡ 3 店舗数 1店舗 4 開業予定 平成27年度 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%; margin-top: 10px;"> <p>○コトチカ京都増床に向けた設計 (予算額：23,000 千円)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 所在地 下京区東塩小路町 2 規 模 設計により確定 3 開業予定 平成28年度 </div>			
<p>〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕</p>			

平成27年度 京都市予算案 事業概要

交通局

事務事業名	地下鉄烏丸線可動式ホーム柵整備事業		
予 算 額	380,138 千円	新規・継続の別	継続
	うち一般会計出資金 77,000 千円 うち一般会計補助金 107,000 千円	政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	高速鉄道部 技術監理課 (863-5216)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 交通局では、お客様に地下鉄をより安全に御利用いただくため、烏丸線において可動式ホーム柵の整備に取り組んでいる。導入に当たっては、厳しい経営健全化計画を推進する中で実現可能な手法として、車両改造を伴わない方法を用いるとともに、国の補助制度を活用し、お客様の利用が多く混雑する京都駅、四条駅、烏丸御池駅の3駅で整備する。</p> <p>※1日平均乗降客数（平成25年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都駅 約 113 千人 ・四条駅 約 91 千人 ・烏丸御池駅（烏丸線） 約 87 千人 <p>※平成26年12月20日に、烏丸御池駅で可動式ホーム柵を供用開始済み</p> <p>[事業概要]</p> <p>1 年次計画 平成27年度は、四条駅、京都駅の順に可動式ホーム柵を設置する。</p> <p>2 総事業費 約7.8億円（平成25年度～平成27年度）</p>			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

平成27年度 京都市予算案 事業概要

交通局

事務事業名	地下鉄案内サインの充実		
予算額	79,356千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	—
担当課	高速鉄道部 営業課(863-5218), 運輸課(863-5223)		

【事業実施に至る経過・背景など】

本市では、これまでから、お客様に便利に地下鉄を御利用いただくため、案内表示の充実に努めており、平成26年度は、市内屈指の観光地である「岡崎地域」において、新たに地下鉄東西線「東山駅」への案内表示の設置・掲出を行った。

【事業概要】

平成27年度は、駅周辺での地下鉄への案内表示を増設する「地下鉄道しるべ」事業や、駅構内の案内サインの刷新などを推進し、更なる地下鉄の利便性向上及び利用促進を図る。

1 「地下鉄道しるべ」事業の推進

駅までの経路等を示す「案内表示」の看板やパネル、ラミネートシート等を交通局が作成し、駅周辺の商店等に御協力いただき無償で設置・掲出する。

- ・平成27年度予算額 1,000千円



(案内例)



(看板の設置)



(パネルの配置)

2 駅地上出入口の地下鉄案内サイン（電照式駅名標）の刷新

地下鉄各駅の出入口地上部に設置している駅名標を、新たに鉄道のピクトグラムや駅ナンバリング表示を導入して、どなたでも地下鉄と分かるような表示に刷新する。

- ・年次計画 平成27年3月 東西線
- 平成27年5月～7月 烏丸線
- ・平成27年度予算額 57,299千円



(更新前の駅名標)



(更新後の駅名標)

3 駅構内案内サインを統一した表示に全面更新

最新のサインマニュアルに基づき、駅構内の案内サインを見やすく統一した表示となるよう更新する。

- ・年次計画 平成26年度から29年度までの4年間で全駅実施予定（平成27年度3駅）
- ・平成27年度予算額 21,057千円

【案内サインの主な変更内容】

- ・古いピクトグラムを新しいピクトグラムに変更
- ・色、表記方法を統一的なものに変更
- ・手作りで追加したサインを整理して見やすいサインに変更



(更新後のサイン例)

【参 考 (他都市の状況・事業効果など)】